

今週の大阪・関西万博 週報 (10/29～11/4)
～ 開催まであと159日です! ～



1. 参加国の状況

- 10/28 (月)、バチカン市国は、カトリック教会の2025年公式マスコット「ルーチェ」(イタリア語で「光」を意味)が、大阪・関西万博のバチカンパビリオンの公式マスコットを務めると発表。



【出典】<https://www.catholicnewsagency.com/news/260129/meet-luce-the-vatican-s-cartoon-mascot-for-jubilee-2025>

- 11/1 (金)、グレナダ、チャドが新たに参加国となることを表明し、アフガニスタン、ニジェールの参加が取りやめとなった旨を公表。(外務省ホームページで公表)

【出展】https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page22_003546.html

【現在の参加国等の状況】 (11月1日現在)

- ・161 国・9 国際機関が参加表明済み。
うち、公式参加契約締結国数：138 国・6 国際機関

うち、未着工の国： 1 国
建設事業者未決定の国： 1 国

2. 今週・先週の主な活動

- 10/30（水）、パソナグループは、ミネベアミツミと共に、同グループが出展するパビリオンに未来の眠りを体験できるベッドを展示する旨を発表。最新の科学に基づき、健康に直結する未来の眠りのあり方と、それを支えるテクノロジーをわかりやすく伝えるもの。



【出展】 <https://www.pasonagroup.co.jp/expo2025/>

- 11/2（土）、トヨタが出資する Joby Aviation において開発を進めている「空飛ぶクルマ」電動垂直離着陸機（eVTOL）がメディア初公開。同機は全長 6.4m・翼の長さは 11.9m で、航続距離は 160km、定員はパイロットを含め 5 人。同機は、大阪・関西万博にてデモフライト予定。



【出展】 <https://global.toyota.jp/newsroom/corporate/41788100.html>

- 10/30(水)、日本郵便は、大阪府咲洲庁舎にて寄付金贈呈式を開催。今春販売のミyakumiyakuをあしらった特殊切手の売上による寄付金を博覧会協会に贈呈。



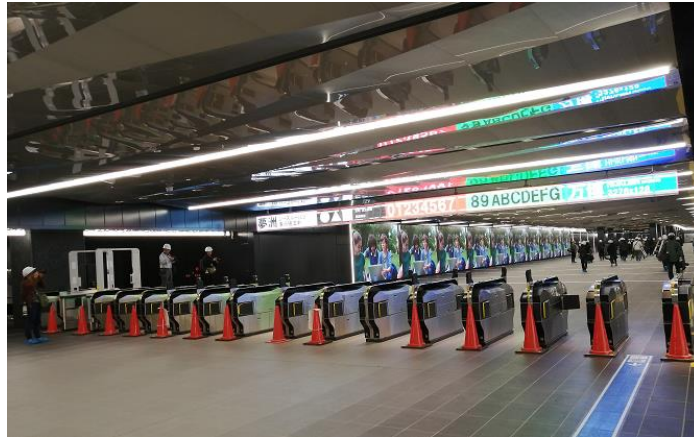
(左:日本郵便(株) 小池近畿支社長、右:博覧会協会 小野副事務総長(博覧会協会職員撮影))

- 11/1(金)、日本郵便は来年の年賀はがき販売開始イベントを近畿2府4県の6会場にて開催。大阪会場にはミyakumiyakuも登場し、郵便局のキャラクター「ぽすくま」とともに年賀はがきをPR。



(大阪会場、博覧会協会職員撮影)

- 10/31(木)、大阪メトロは、大阪・関西万博会場の最寄り駅となる夢洲駅の構内を報道公開。同駅は来年1月19日に開業予定。駅の内装工事はほぼ完了。会期中は、1日あたり最大約13万人の来場者が同駅を利用の見込み。

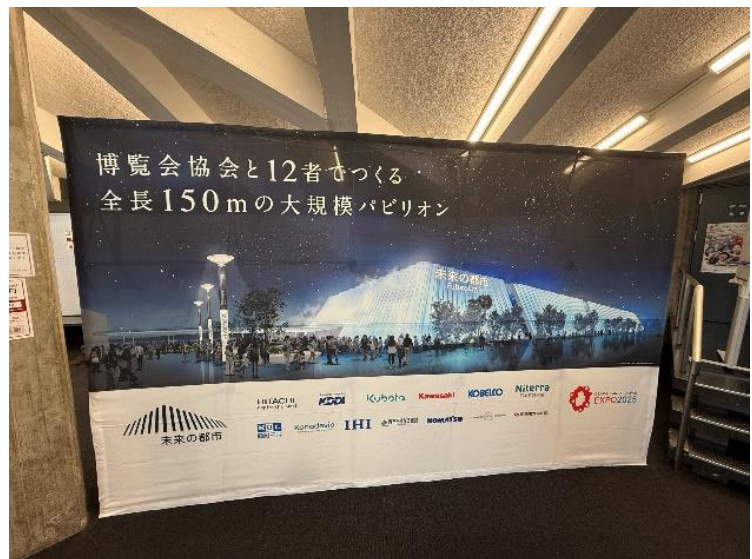


(画像提供:大阪港湾局)

- 11/3(日)、早稲田大学は、理系キャンパスの理工展(学園祭)で「万博教室」を開催。「未来の都市」パビリオンの協賛企業(日立製作所、KDDI、関西電力送配電、青木あすなろ建設、コマツ、CPC)、博覧会協会、経済産業省の担当者が登壇し、のべ約200人の来場者に対し、「未来の都市パビリオン」の展示内容や万博について説明。



(画像:経産省職員撮影)



- 11/1(金)～11/4(月)、博覧会協会は「2024 台北国際旅行博(ITF2024)」に万博PRブースを出展。台湾の頼総統がミャクミャクと一緒に万博をPR、現地大手旅行会社との商談も活発に行われるなど、台湾の万博への参加がより一層加速化した。



【出典】博覧会協会HP：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241029-02/>



- 11/3(日)、大阪府市などが主体となり、御堂筋ランウェイ 2024 を開催。吉村 大阪府知事らが大阪・関西万博をPR。コブクロは、万博テーマソング「この地球(ほし)の続きを」をライブで披露。万博来場サポートデスクも設置され、チケットの購入方法や来場についての相談を受け付けた。



(画像提供：御堂筋パーティー実行委員会)

<今後の予定>

- 博覧会協会は、全国のイオンモールにおいて「想像以上！を、体験だ！まわる！EXPO PLAYPARK」を随時開催する予定。巨大すごろく「まわる！EXPO すごろくツアー」など、大阪・関西万博の魅力を体感できるアトラクションで万博をPR。11/9（土）、10（日）は、イオンモールモールりんくう泉南1F「セントラルコート」にて実施。

【出典】博覧会協会 HP : <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241101-03/>



- 博覧会協会は、以下のイベントにおいてプロモーションを展開。
- ・ 11/4（月）～11/7（木）アブダビ国際石油展示会議（ADIPEC2024）@Abu Dhabi National Exhibition Center（ADNEC）（アラブ首長国連邦・アブダビ）
 - ・ 11/5（木）～11/10（日）第7回 中国国際輸入博覧会 2024@国家会展中心（中国・上海）
 - ・ 11/8（金）～11/10（日）タイ・バンコク訪日旅行第16回FITフェア（Visit Japan FIT Fair）@サイアム・パラゴン5階（タイ・バンコク）
 - ・ 11/22（金）～11/24（日）中国国際旅游交易会（CITM2024）@国家会展中心（中国・上海）

【出典】博覧会協会 HP : <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241029-02/>



3. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 723万4,033枚（2024年10月30日現在）

4. 主要な指摘事項と事実関係

(1)

指摘事項

- 「11月4日にマルタのパビリオンが着工開始することが決まり、これを以て全てのパビリオンで着工の目途がついた」との報道があるが、事実関係如何。

【事実関係】

- ・すべてのパビリオンの着工の目処は立ってきているが、相手国との関係があるため、個別の国のパビリオン準備の進捗状況についてはコメントは差し控えている。
- ・いずれにしても、パビリオンの建設については、参加国に対して開幕までに終わらせるよう依頼するとともに、政府としても、博覧会協会と連携し、工事が円滑に進むよう引き続き取り組んでいく。